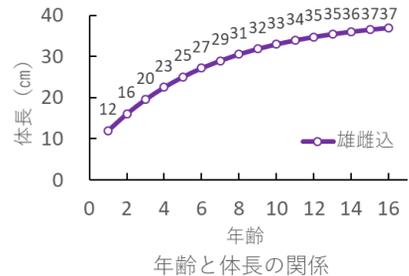


ババガレイ（地方名：なめたがれい）

1 生態

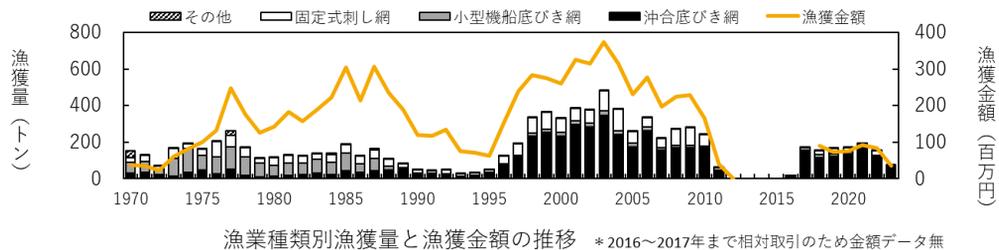
- ・福島県沖ではごく沿岸から水深300mに分布し、主漁場は200～300mです。産卵に伴い北海道から常磐海域にかけての広い海域を移動すると考えられます。
- ・メスは体長30cmで20～80%成熟し、産卵期は3～4月と考えられます。
- ・主に多毛類やイソギンチャク等のほか甲殻類を食べます。

*東北太平洋沖ババガレイにおける年齢査定法の確立（谷瀬ほか2020）により右図を作成



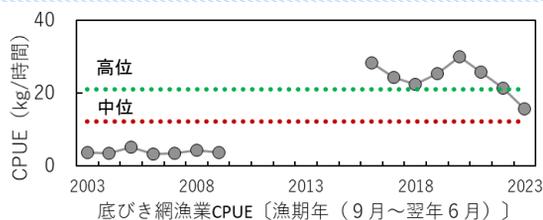
2 漁業に関する情報

- ・沖合底びき網及び小型機船底びき網や刺し網等で周年漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は76トン、金額は35百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2016年（平成28年）11月から再開されています。



3 資源の状態

- ・原発事故の影響により、操業が限定されている中、漁獲量は震災前と同程度であることから、資源は高位で推移しているものと考えられます。
- ・底びき網漁業のCPUE（曳網1時間あたりの漁獲量）は、2016年漁期以降、高位で推移していましたが、2020年漁期以降、減少しています。
- ・2023年漁期の資源水準は中位で減少傾向にあります。



4 資源管理の取組み

- ・現在、実施されている取組みはありません。